

【救護衛生班】

救護衛生班でやること！（オモテのみ）

【**班長は手順書を読んでください**】

救護衛生班の黄色のゼッケンをつけてください。

※青ボックスは救護衛生班で管理します。

救護衛生班



これからやることは

1. **医療救護所開設の準備**
2. **トイレの使用準備**
3. **感染症対策の周知**
4. **避難者の健康管理**です。

数グループに分かれて各作業をおこなってまいります。

次の手順書を読んでください！

現時点で医療救護所の場所は
決まっていますか？



決まっている場合と決まっていない
場合で対応が異なります。

○場所が決まっている場合

⇒次の手順書を読んでください。

○場所が決まっていない場合

⇒運営本部班で救護所の場所を検討中です。
場所が決定したら本部班から連絡がくるの
で、それまでは2.トイレの使用準備の手順
書を行ってください。

1. 医療救護所の開設準備 (オモテ)

【はじめに】

医療救護所は避難所に参集する医師会、歯科医師会、薬剤師会の人達と協力して開設していきます。

医療救護所の設営

医療従事者の方と相談して、受付の場所や診察の場所などを決定および設営します。また、備蓄倉庫から必要物資も取り出しましょう。

2グループに分かれて救護所設営と物資搬入を行います。

必要な人数は6人。

班長は6人を選びこの手順書を渡してください。

必要物資は裏面を確認しましょう

1. 医療救護所の開設準備 (ウラ)

下記の備品を備蓄倉庫から運んでください

※消毒液やフェイスシールド等の感染症用品は「はじめにやること」の手順書で玄関付近に搬入しています。必要に応じて救護所に運んでください。

①簡易ベッド



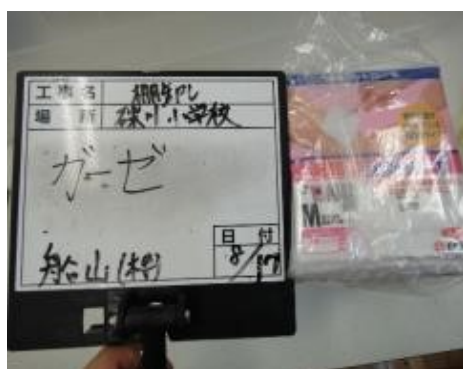
②車いす



③医薬品



③ガーゼ



④清拭タオル



⑤トリアージタグ



⑥包帯



作業が終わったら班長に報告しましょう！

トイレの使用準備を行います。
作業としては、

- ① 洋式トイレにトイレ袋を設置
 - ② 汚物をいれる集積袋の設置
 - ③ 掲示物の掲示
- の3つです。

必要な人数は4人。

班長は4人を選び、この手順書一式
を渡してください！

作業の詳細は裏面を確認しましょう

【はじめに】

トイレは避難者の一般避難者スペース（体育館）や要配慮者スペース（本部班が場所を決定）近くの3か所程度で準備をします。

参考資料①の学校図面を確認し、どこのトイレで準備をするか決めましょう。

場所が決まったら、下記の①～③を行います。

① 洋式トイレにトイレ袋を設置

備蓄倉庫からトイレ袋（サニタクリーン）とごみ袋を取り出し、洋式トイレに設置します。

設置方法については次のページの参考資料②を確認してください。



② 汚物をいれる集積袋の設置

養生テープ等を使い、①で取り出したごみ袋をトイレ内に設置してください。



③ 掲示物の掲示については次のページに記載しています

2. トイレの使用準備 (オモテのみ)

③ 掲示物の掲示

下記2種類をトイレ内に掲示します。

- ・ トイレの使用方法
- ・ 手洗い方法

養生テープなどを使用し、トイレ内の目立つ位置に貼ってください。

トイレ内の使用方法

手洗い方法

洋式トイレの使用方法

(掲示用)

- ① トイレに入る前に、トイレ入口に置いてあるごみ袋と便袋(サニタクリーン)を1枚ずつ取ってください。
- ② トイレ使用後は、次の人が使用するために、青枠内の手順でごみ袋等をトイレにセットしてください。
- ③ トイレ使用後の袋は、脱臭剤を振りかけ、トイレ内に設置してある集積袋に捨ててください。

※下水が復旧するまでは、

便器に溜まっている水は流さないでください!

1. 便座を上げ、ごみ袋をセットします。



2. 便座を下げ、便袋(サニタクリーン)をかぶせて使用します。



手洗いは 食中毒・感染症予防の基本です

こんなときは手洗いを忘れずに!

- トイレ後
- 食後
- 不要なものに触れた後
- 外出後
- 調理後
- 動物に触れた後
- 傷口付け前

手洗いの手順

- 1 流水で手を洗い、石けんをつける。
- 2 手のひら
- 3 手の甲
- 4 指先・爪の間
- 5 手の背
- 6 親指 (手のひらで包んで回し洗い)
- 7 手首
- 8 流水ですすぎ、ペーパータオルや清潔なタオルで水気を拭き取る。(水分が残っていると消毒効果が減少)
- 9 十分な量の手指消毒剤を手のひらにとり、手洗いの手順で手指全体によくすり込んで、自然乾燥させる。

手洗いのポイント

- ぬい X
- 短縮・減量剤は除外
- 汚れが残りやすいところ
- 手拭き用タオル

東京都福祉保健局 学校保健センター (水が使える場合) 資料 10-081

作業が終わったら班長に報告しましょう

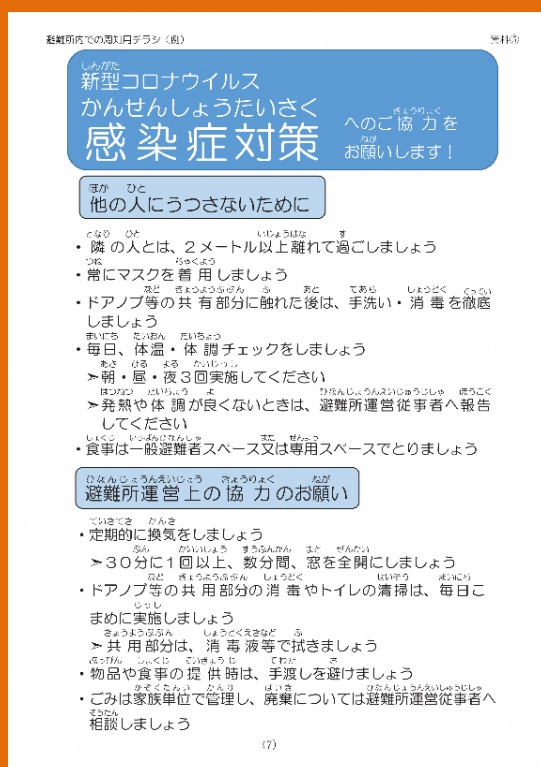
感染症対策の掲示物の掲示

避難所の衛生環境を保つために、ケース内にある「感染症対策へのご協力のお願い」を体育館や受付等に掲示します。

必要な人数は2人です。

班長は2人を選び、この手順書を渡してください。

感染症対策へのご協力のお願い



作業が終わったら班長に報告しましょう

【体調チェック表について】

- ①避難者の体調チェック表の確認は1日1回以上実施します。実施時間は本部班で決定されます。
- ②実施時間になったら、班内で手分けして、居住スペース（体育館等）の避難者の体調チェック表の確認を行ってください。
※専用スペースの避難者については、総務情報班が体調確認を行い、救護衛生班に報告することとなっています。
- ③体調チェック表に問題のある方がいれば医療関係者の方に相談してください。

以上で救護衛生班の手順書は終了です。
手順書に記載がない問題等が発生した場合は本部班等と相談して対応にあたっていきましょう。

医療関係者が到着していない場合

① 可能な範囲で手当をします

けがをした避難者がいる場合は青ボックスに入っている救急バックと救急テキストを参考にして可能な範囲で対応してください。

② 避難者への呼びかけ

避難者の中に医療有資格者がいるかもしれないので、協力を呼びかけます。

③ 重傷者は119番通報

生死にかかわる重傷者は119番通報してください。



青ボックス



救急テキスト